

地域産業活性のモデル地区において、本来の里山を取り戻す取組を実施します。

里山活用事業

対 象 市内の里山

目 的 地域産業活性のモデル地区として本来の里山を取り戻し、里山にある資源や空間を有効活用して地域の持続可能な発展につなげます。

課 題

- ① 生活様式の変化等で里山林は放置され、森林整備の担い手不足により荒廃が進んだ結果、有害鳥獣による農被害など、森林の公益的機能が発揮しにくくなっている。
- ② 昔と比べ子ども達が自然とふれあう機会が減少し、自然に対する愛着や知識が低下している。情操教育に対する学びの場が失われつつある。

里山の魅力を再生するための取組は、
里山に関わるひとづくりから



事業内容

森のようちえん

参加者を募ったイベント型として実施し、遊具など作られたものがない里山内で、子ども達が里山を自由に使い自由な発想で遊ぶことで、新たな気づきを感じることができます。

アベマキを活用した学校机プロジェクト

小学校と連携し、市内森林に自生するアベマキを小学校の学習机の天板に活用します。



里山の整備および整備後の里山利活用

- ・森林経営計画等に基づき、地域連携や地域住民による維持管理を進めます。
- ・森林空間活用や地域連携のモデル地区として発信します。
- ・里山をフィールドとして企業との連携を通じた里山整備を推進するため「地域貢献の整備」と「社員の健康」を合わせた事業計画を策定し企業への働きかけを図ります。

